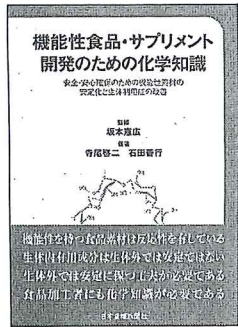


# 「機能性食品・サプリメント」

## 開発のための化学知識」刊行

(株)シクロケム・代表取締役の寺尾啓二氏と同社研究員の石田善行氏の著作「機能性食品・サプリメント」開発のための化学知識(1900頁、953円・税別。発行(株)日本食糧新聞社)が、このほど刊行された。

同書では、機能性食品・サプリメント商品の開発設計の基本的な考え方から、実際のバイオアベイラビリティ(生体利用能)と安全性について、実例が多数掲げられながら、その要点が解説されている。



タンパク質やアミノ酸と同時に配合すると変質しやすい物質に對しては、CD(シクロデキス トリン)を用いることで安定性が改善すること。抗酸化物質である脂溶性ビタミン類は、熱や光、酸素、同時に配合する物質に對して不安定であるため安定化が必要で、それにはrCDによる包接が有効性・優位性を持つことなどが述べられている。さらに、rCDで包接した物質は安定性が向上することも、熱や胃酸に對する残存性も高まり、バイオアベイラビリティが向上したという研究結果も書かれている。また、変質しやすい物質は有害物質や発ガン物質などに変化する可能性も高いので、rCDで包接することは安全性にも有用であることが示唆されている。